

(Ⅳ－６) 高崎駅及び宇都宮駅からの新幹線通勤者の特性比較分析

群馬大学大学院 ○学生員 川瀬 功司
群馬大学工学部 正 員 青島縮次郎
群馬大学工学部 正 員 磯部 友彦

1. 研究の背景と目的

近年、特に首都圏において新幹線を利用した遠距離通勤者が急増している。これまでの分析により、通勤者が新幹線通勤を始める際の動機や意識が明らかになった^{1) 2)}。そこで本研究では、新幹線通勤者を対象としたアンケート調査を用いて、実際に新幹線通勤者がどういった通勤行動をとっているか、その特性について明らかにすることを目的とする。なお本研究では、新幹線東京駅乗り入れの前後で通勤行動の特性がどのように変わったかについても考察を加えた。

2. 調査対象駅の特性と調査概要

(1) 高崎駅と宇都宮駅の特性比較

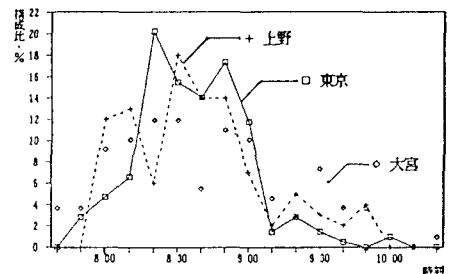
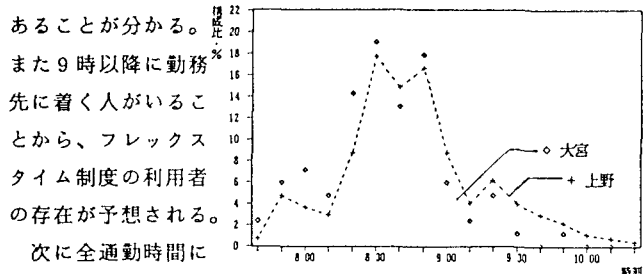
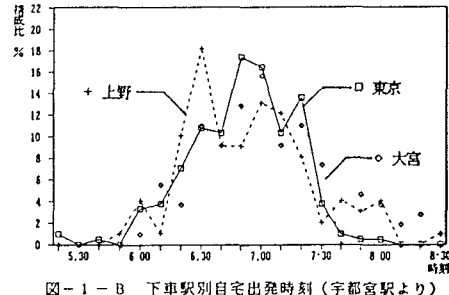
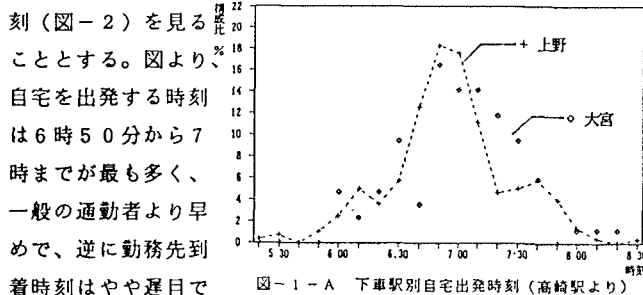
高崎駅及び宇都宮駅の上野駅までの駅特性は極めて類似している。両駅とも上野駅までの営業キロは約100km、所要時間は約50分となっており、在来線普通の比較では、いずれも所要時間で約1時間の短縮、通勤定期券代は約2倍の金額となっている。

(2) 調査の実施概要

調査の実施概要を表－1に示す。なお両駅から新幹線を使って東京方面に通勤している人の総数は、(配布数＋拒否数)×上り方向通勤者率、として求めると、高崎駅で930人、宇都宮駅で900人という値が得られた。また、両駅の調査日の間に東京駅乗り入れ(平成3年6月20日)が行われている。

3. 新幹線通勤者の通勤行動特性比較分析

新幹線通勤者の通勤行動の特性のうち、まず両駅からの通勤者の自宅出発時刻(図－1)、勤務先到着時刻(図－2)を見る



次には全通勤時間については(図－3)、

1時間30分から2時間までが大半で、両駅ではそれが通勤時間の限度となることが分かる。新幹線駅までのアクセス時間(図-4)と新幹線下車駅からのイグレス時間(図-5)についてはともに20分から30分にかけて多くなっているが、大宮駅下车の通勤者については他の2駅と異なった結果が出ている。特にイグレス時間をみると20分と50分がやや高くなっており、その間にも散らばりが見られる。これは勤務地が大宮市近辺と新宿区(東京都)近辺の二地域に分か

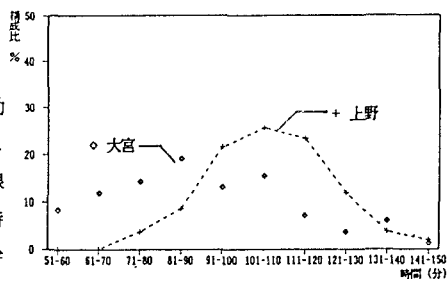


図-3-A 下車駅別全通勤時間(高崎駅より)

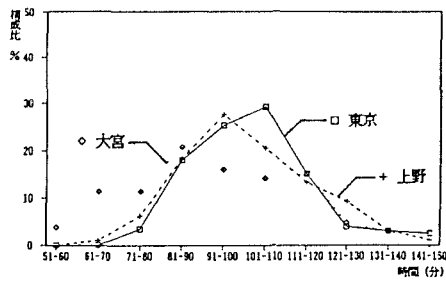


図-3-B 下車駅別全通勤時間(宇都宮駅より)

れているのが原因である。したがって全通勤時間と自宅出発時刻にも2つのピークが現れる結果となる。東京駅および上野駅下車についてはそういった現象は見られないが、両駅からの最終目的地のほとんどがともに千代田区、港区、中央区となっているため、上野駅からのイグレス時間の方が比較的長くなる傾向にある。ただし調査時には、上野駅下车の通勤者の23%が今後東京駅までの定期券通勤にかえたいと答えているので、その後上野駅からのイグレス時間は短くなったものと思われる。

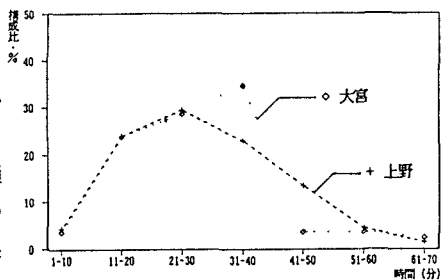


図-4-A 下車駅別アクセス時間(高崎駅より)

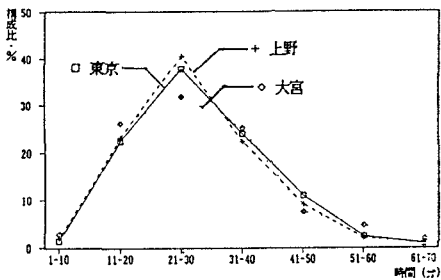


図-4-B 下車駅別アクセス時間(宇都宮駅より)

れているのが原因である。したがって全通勤時間と自宅出発時刻にも2つのピークが現れる結果となる。東京駅および上野駅下車についてはそういった現象は見られないが、両駅からの最終目的地のほとんどがともに千代田区、港区、中央区となっているため、上野駅からのイグレス時間の方が比較的長くなる傾向にある。ただし調査時には、上野駅下车の通勤者の23%が今後東京駅までの定期券通勤にかえたいと答えているので、その後上野駅からのイグレス時間は短くなったものと思われる。

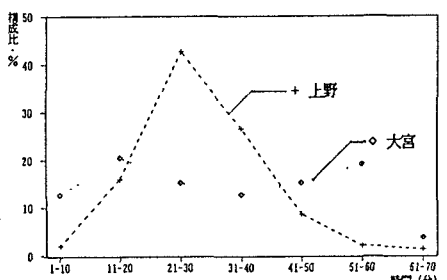


図-5-A 下車駅別イグレス時間(高崎駅より)

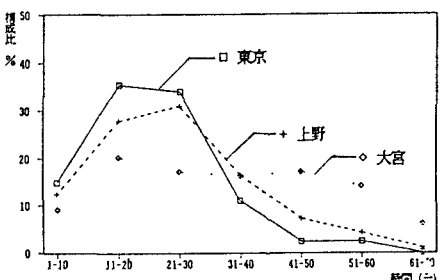


図-5-B 下車駅別イグレス時間(宇都宮駅より)

次に高崎駅と宇都宮駅との比較であるが、駅特性の類似性から、両駅とも似通った結果がでている。強いと言えば、前橋市からの通勤者が含まれる前者の方がややアクセス時間は長い。またイグレス時間を見ると宇都宮駅の方が短くなっているが、これは新幹線東京駅乗り入れの影響がたものと思われ、高崎駅においてもその後同じ様な経緯をたどって、イグレス時間は短くなっていると考えられる。

4. まとめ

以上の分析より、新幹線通勤者の通勤時間は1時間30分から2時間が限度であり、通勤者の多くは7時前に自宅を出発、9時前に勤務先到着であるが、一部にフレックスタイム制度利用者が存在することが明らかとなった。

<参考文献>

1)青島縮次郎、磯部友彦、川崎徹(1991):新幹線通勤者の類型化とその特質に関する実証的研究—上越新幹線高崎駅利用者を事例に—、第26回日本都市計画学会学術研究論文集,PP.253~258.

2)青島縮次郎、磯部友彦、川崎徹(1992):高崎駅と宇都宮駅からの新幹線通勤者の特性比較分析、運輸と経済、第52巻、第9号,PP.51~58.